

この学校にわたしたち

2023. 9. 13

N031

ふと見た景色より

休みの日に自宅近くで小さな子が楽しそうにして走っていて転ぶところを見ました。その子は痛かったのとびっくりしたのとで泣き出してしまいました。近くにいた母親はすぐに駆け寄って行って「大丈夫、すぐに治るよ。いたいいたいのとんでいけ～」と声をかけていました。「甘やかしてはいけない」とか「自分で立ち上がらせなければ…」という考え方もあるかもしれませんが、しかしながら、子どもが小さければまずは温かいまなざしと言葉がけが何より痛かったり、悲しかったりする子どもの気持ちを和らげるのではないのでしょうか。心理学で“コンテインメント”という言葉があります。“包み込み”という風に訳され、心理学以外でもこの言葉は多く使われています。

先の話に戻すと、コンテインメントとは、自分ではどうすることもできない痛みや悲しみを誰かが自分で許容できるレベルまで包み込んで和らげてくれるというものです。人生においてこの和らげてくれる存在があるかないとでは大きく違ってくると言われていています。今回の場合は包み込んだのは母親ですが、決して母親でなければならぬ訳ではありません。父親であっても、教師であっても、兄弟や祖父母であってもいいと思います。思春期にあっては友だちという存在かもしれません。ハツ山小の子どもたちも将来成長の中で嫌な思いをしたり、挫折をしたり…ということはあるかもしれません。それらをすべて取り除くことよりも包み込んでいける存在にまわりにいる私たちはなっていきたいと思います。

スクエア ピアニスト誕生!



ある日の昼休みに私は、ランチルームにおいてあるピアノの調子が悪いと聞いたのでピアノを弾きながら(;^_^A 鍵盤の動きを確認していました。そこに子どもたちが集まってきてその中の1人が

素敵な音色で演奏を始めました。その子に「駅などに置いてあるピアノで演奏するストリートピアノという言葉を知っている?」と聞きました。その子は「知っているよ。演奏したことあるよ。」と答えてくれました。その子には休み時間、ランチルーム

のピアノは自由に弾いていいよ…と伝えると嬉しそうにしていました。子どもにはそれぞれ良いところ・得意なことがあります。ピアノの得意な子どもはこういう場で、運動や芸術の得意な子は別の場所です。どんどん自分を表現し、自信を持ってほしい…そう願います。10月31日にはハツ山小学校に有名なピアニストと声楽家の方を招いてのコンサートを行います。保護者や地域の方も宜しければご参加ください。(ストリートではありませんので“広場”という意味のスクエアを使用しました)